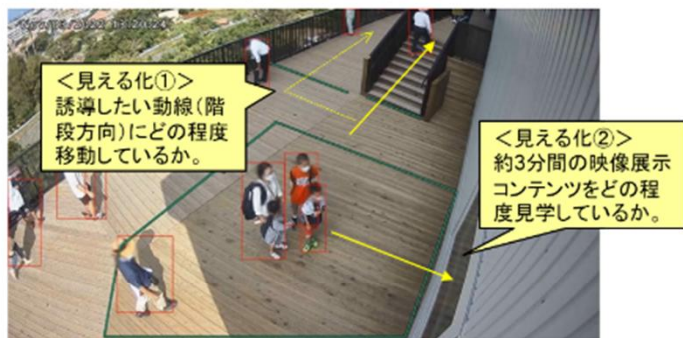


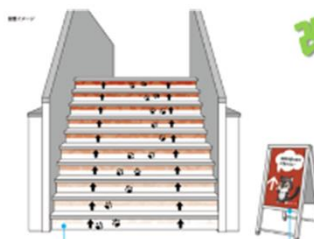
首里城復興におけるDX取組

人流解析データの活用

<来園者行動の見える化事例>



- ①階段方向への進入率は約71%。
- ②映像コンテンツ前での滞留時間は約19秒。



改善
階段周辺に案内サインを追加した結果、階段を通行した割合が約83%に上昇。



改善
ディスプレイ周辺に案内サインを追加した結果、滞留時間が約25%上昇。

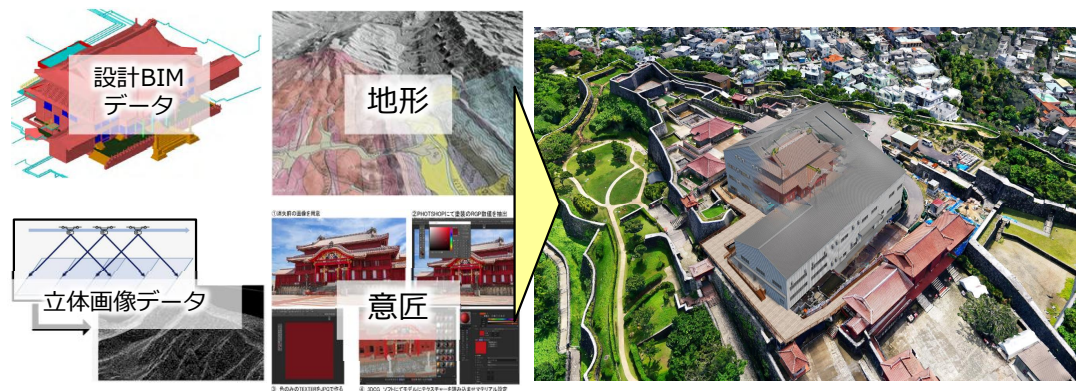
新コンテンツへの知見反映



新たな見学エリアの映像コンテンツは40秒程度のショート動画で構成。左上には残り時間をタイマー表示。

デジタルコンテンツの活用

<園内展示コンテンツ事例>



首里城デジタルツインの作成
地形情報を持ち合わせた地図の上に、立体の画像データを重ね合わせ、その上に設計BIMデータを配置し復元検討用のデジタルツインを作成



VR技術を取り入れデジタルツインの世界で工事の進捗を間近で体験。



タッチパネルを活用し首里城正殿の完成イメージを展示解説。

女性技術者と行く！建設業 しごと・みらい体験ツアー

日時：令和6年8月2日(金)13:00～17:00

場所：沖縄総合事務局(DXルーム)・南風原バイパス(現場体験)

参加中学生：19名

【概要】

- 開発建設部の女性職員と県内の女性技術者で作る「teamけんせつ美ら小町」と共同で、女子中学生を対象に現場体験会を開催しました。
- 建設業について、将来の職業選択肢に挙げて貰えるよう首里城VR体験や、工事現場でICT建機の見学、ドローンでの写真撮影などを行いました。



DXルームにおける首里城VR体験



工事現場でICT建機の見学

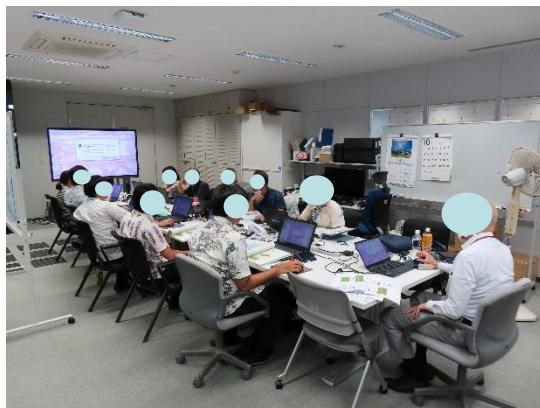


ドローンで写真撮影している様子

【概要】

- 人材育成や情報発信拠点、サテライトオフィスを兼ね備えた「沖縄インフラ DXルーム」を開設。
- DXルーム施設の概要説明、遠隔臨場による現場紹介、首里城復興状況の紹介、3Dデータを活用したVR体験を実施。
- 今後、働き方改革実践やICT・BIM/CIM等DX全般に関する人材育成の拠点として活用。

R5.10.20 BIM/CIM講習会



R5.8.15 女子中学生と女性技術者との交流会 (3Dデータを活用したVR体験)



首里城の復興状況の紹介



VRを用いた
現場見学の体験

沖縄総合事務局では、i-Constructionの推進を図るため、自治体等を対象とした現場講習会等を実施している。

令和5年度 実施

○沖総局主催 ICT活用工事現地講習会（現場見学会）

○沖総局主催 i-Construction関連講習会

○外部団体主催の講演会等でのICT関連講習・情報提供等

【南部地区開催 ICT現場見学会】 与那原町

■開催日時: 令和6年3月18日 15:00~16:00

■講義内容: 3次元設計データについて
(起工測量~3次元データ納品までの流れ)

ICT建機体験

■参加者及び人員

施工者 27名
自治体職員 9名
開建部職員 7名
(合計43名)



【令和5年度 BIM/CIM講習会】

■開催日時: 令和5年10月20日 9:15~17:15

■講義内容: i-Construction(BIM/CIM)の利活用

■講師: 川田テクノシステム

■参加者及び人員:

開建部職員 9名
自治体職員 1名



令和6年度 BIM/CIM講習会

■日時:	第1回	令和6年8月8日	(災害対策室BC)
	第2回	令和6年11月28日	(DXルーム)
■講師:	川田テクノシステム		
■参加人数			
第1回	令和6年8月8日	開建部職員	9名
		地方職員	5名
		計	14名
第2回	令和6年11月28日	開建部職員	7名
		計	7名



講義内容

- ・BIM/CIM原則適用に向けて
- ・V-nasClairの基本操作(2D・3Dの基本操作)
- ・3D納品データの受領・検査
- ・モデルの合成と測量成果の確認
- ・3Dモデルから2D契約図面の作成
- ・BIM/CIMモデルの利活用(義務項目・推奨項目)
- ・業務情報共有システムの概要について